

科 目 名	脳血管障害理学療法学演習【理学】					開 講 キャンパス	神 崎
担 当 者	山 田 道 廣						
開 講 年 次	3	開講期	前期	単位数	1	必修・選択	必 修（理学）
授業の概要 及びねらい	脳の損傷はその損傷部位によりさまざまな問題が生じるため、その理学療法を展開するためには、基本的な脳の構造と機能の理解が求められる。また、損傷された神経の機能がどのような経過をたどって回復に至るかについて理解することが、具体的なトレーニング方法の立案に不可欠となる。						
授 業 の 到 達 目 標	①脳の機能と運動障害の関係についての整理 ②運動障害の原因となる脳血管障害をはじめとした脳の損傷についての知識の確認 ③リハビリテーションを行う意義についての理解を主な目的としている ④医学的管理の目的やimpairmentとactivity limitationの評価の流れ、課題特異的なトレーニングのあり方についても深く学ぶことを目的とする ⑤グループ分けをして、課題別に調べた内容を発表する						
学 習 方 法	講義（グループ内で調べた内容を発表する）						
テキスト及び参考書等	テキスト1）石川 朗編：「神経障害理学療法学Ⅰ」理学療法テキスト、中山書店、2011 参考書1）細田多穂編：「中枢神経障害理学療法学テキスト」南江堂						
評 価 基 準 ・ 方 法	到 達 目 標						評価割合%
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲・態度	技能・表現			
定期試験	◎	◎				70	
小テスト等							
宿題・授業外レポート		○				10	
授業態度				○		10	
受講者の発表					◎	5	
授業への参加度				○		5	
その他	自分達で調べた内容をパワーポイントで発表する					○	
合 計							100
(表中の記号 ○評価する観点 ◎評価の際に重視する観点)							
授業計画（学習内容・キーワードとスケジュール）							
第 1 週	中枢神経系理学療法の基礎知識:脳の構造と機能、脳血管の走行、国際生活機能分類、運動学習の基礎知識を整理する						
第 2 週	運動と感覚の中枢機能と構造:運動・感覚に関連する項目と血管分布、運動皮質の機能局在と運動障害の関係を理解する						
第 3 週	脳損傷の定義と病態：脳損傷を理解する、脳血管障害の疫学、NINDS-Ⅲの脳血管障害の分類を理解する						
第 4 週	脳の損傷とその回復：リハビリテーションによる機能的再組織化を理解する						
第 5 週	脳血管障害における医学的管理：脳血管障害に対する治療手段とその背景を理解する						
第 6 週	脳血管障害におけるリハビリテーションの流れ：急性期・回復期・維持期の流れを理解する						
第 7 週	脳血管障害後片麻痺患者の運動障害の特徴：片麻痺患者に生じる運動の特徴を理解する						
第 8 週	脳血管障害後片麻痺に対する評価(1)－impairment:impairmentの評価方法を理解する						
第 9 週	脳血管障害後片麻痺に対する評価(2)－activity limitation:activity limitationとimpairmentの評価方法を理解する						
第 10 週	脳血管障害後片麻痺患者に対するトレーニング(1)－課題指向型トレーニングと運動学習の理論的背景						
第 11 週	脳血管障害後片麻痺患者に対するトレーニング(2)－歩行に向けて、座位、立位を中心に						
第 12 週	脳血管障害後片麻痺患者に対するトレーニング(3)－歩行を中心に						
第 13 週	脳血管障害における合併症：片麻痺で生じる合併症とその対策を理解する						
第 14 週	高次脳機能障害と理学療法－pusher 現象と半側空間無視:高次脳機能障害と理学療法について理解する						
第 15 週	脳血管障害における理学療法の実践：評価からトレーニングの流れを理解する						
第 16 週	試験と授業のまとめ						
備 考	＊必要に応じてこの授業の内容を変更することがあります ＊グループで調べてきた内容を授業開始前に発表してもらいます ＊授業に先立ちあらかじめ授業外学習（予習・復習）を必ず自宅でを行い授業に参加するように						